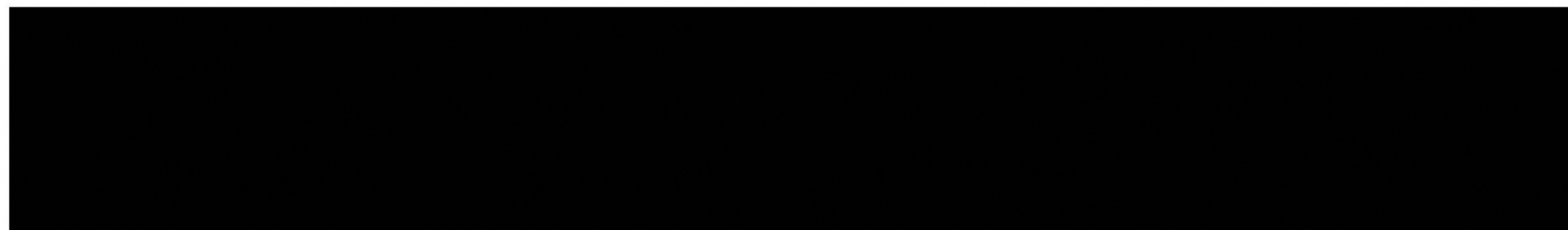


市民会館外壁緊急対策工事

竣工図

平成15年度

那覇市建設管理部建築工事課



図面目録

表紙

図面目録

A－01	特記仕様書	
A－02	配置図、付近見取図	S=1/300, NO SCALE
A－03	地下平面図	S=1/300
A－04	1階平面図、中2階平面図	S=1/300
A－05	2階平面図、中3階平面図	S=1/300
A－06	3階平面図、中4階平面図	S=1/300
A－07	南側立面図、西側立面図	S=1/300
A－08	北側立面図、東側立面図	S=1/300
A－09	断面図	S=1/300
A－10	断面図、天井伏図	S=1/300
A－11	落下防止棚 平面図（1）	S=1/50, 1/20
A－12	断面詳細図	S=1/50, 1/1
A－13	仮設計画図	S=1/300

I. 工事概要

1. 工事名：市民会館外壁緊急対策工事
2. 工事場所：那覇市寄宮1-2-1
3. 敷地面積：8.552 m²
4. 地域地区：用途地域：第2種住居専用地域 住居地域
5. 工事種別：・新築 ・増築
6. 建物概要

・用途：市民会館

・構造：鉄筋コンクリート構造

・階数：地下 1 階 ・地上 3 階 ・塔屋 階

・建築面積：4674.66 m²

・延べ面積：7334.61 m²
7. 工事概要 ☐ 底裏剥離コンクリート落下対策工事 ・底レンガタイル落下対策工事
- ・P 進入防止フェンス設置工事

II. 工期

- ・契約締結日の翌日から 日間
- ☐ 平成16年1月27日 から 平成16年2月27日 まで

III. 県産資材の優先使用およびその他

1. 本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用する再生資源及び、再生製品についても同様とする。)
2. 公共事業労務費調査に対する協力

(1) 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

(2) 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

(3) 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

(4) 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

IV. 建築工事仕様

1. 図面及びこの特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」（平成13年版）及びそれに基づく監理指針である「建築工事監理指針」（平成13年版）による。
2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は☐印のついたものを適用する。☐印のつかない場合は※印のついたものを適用する。☐印と※印のついた場合は共に適用する。

(3) 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 形状寸法の単位は、特記なき限りmmとし、質量も従来どおりkgであるが、力（N：ニュートン）、応力（N/mm²）、圧力（Pa：パスカル）、エネルギー（J：ジュール）等は基本的には国際単位系（SI単位）を使用する。

1. 一般共通事項

- ① 発生材の処理等 (1.1.13) 再生資源利用(促進)計画書

工事着手前にあらかじめ、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督職員に提出する。

また工事完成時にその実施状況を監督職員に提出する。

発生材の処理は次による

マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

☐ 引渡しを要するもの（監督員の指示による）

☐ 現場において再利用するもの（同上）

☐ 再資源化を図るもの又は廃棄するもの
- | 分類 | 処理方法 |
|-----------------------------------|-------|
| ・廃石綿等 | |
| ・建設発生土 | |
| ☐ セメントコンクリート塊 | リサイクル |
| ・アスファルトコンクリート塊 | |
| ・建設発生木材 | |
| ・廃石膏ボード | |
| ☐ 鉄・アルミ屑 | リサイクル |
- ☐ その他の分類品目についても全て分別のよりリサイクル処理を原則とする。
- ・特別管理産業廃棄物（・廃油 ・廃石綿等 ・廃PCB等）

その処理方法（ ）

上記以外の産業廃棄物の処理

・その他の方法（撤出調書作成）

〔処理者： 〕 〔処理地： 〕

〔処理方法： 〕

(工事関係図書)

- ② 実施工程表 (1.2.1) ※概成工期（平成 年 月 日 ）
- ③ 施工計画書 (1.2.2) 品質計画
※共仕の8章、9章、10章、13章、14章、16章、17章に適用される
建築基準法に基づき定められた風圧区分等
風速（V0＝46 ）
地表面粗度区分（・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ）
- ④ 施工図等 (1.2.3) ※施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする
- ⑤ 工事の記録 (1.2.4) 工事写真の整備
・電子媒体（沖縄県が定める営繕工事に係る工事写真の電子納品要領及び同要領の運用による。）
☐ 上記以外（ネガフィルム等で撮影した記録についてもデジタル化しCD等で納品のこと）

⑥ 施工中の安全確保及び環境保全 (1.3.7)

※工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努める。

※施工中の安全確保に関しては、建築工事安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、災害及び事故の防止に努める。

※低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成9年7月31日建設省告示第1536号）による建設機械を使用する ☐ 使用しない

※工事材料及び土砂等の運搬に当たっては、積載超過のないようにするとともに、車両の通行に関する事項について、関係機関と十分打ち合わせのうえ、交通安全管理を行う。

7節 完成図等

☒完成図 ☐完成写真 ☐保全に関する資料 ・その他（ ）

※完成図は設計図を完成時の状態に修正したものとし、下記ものを提出する。
種類及び提出部数は下記による。

種類	原図 (A2版)	青図 (A2版観音開)	縮小版 (A3版製本)	マイクロフィルム	CD-ROM
☐ 全図面（完成時の状態）	1 部	2 部	2 部	部	2 部
・共仕（表1.7.1）による	部	部	部	部	部
	部	部	部	部	部
☐ C A Dデータ（全図面）	（ ）部 ・F D ・M O ☐ C D－R ・他（ ）				

なお、CD－ROMは、（財）沖縄県建設技術センターにおいて、収録内容の確認を受けた後に、同センター発行の確認証とともに提出する。

完成図の様式等
・国土交通省営繕工事電子納品要領（案）による
・共仕1.7.2(b)(1)による
・その他（ ）

※保全に関する資料は下記により、提出部数は1部とする。
建築物等の保守に関する説明書
機器取扱い説明書
機器性能試験成績書
主要な材料・機器一覧表等
官公署届出書類

・上記資料等を収録した電子媒体を提出する。
・F D ・M O ☐C D－R ・その他（ ）

※下記ものを提出する。

分類・規格	撮影箇所数	部数	原版の大きさ(mm)
・カラーパネル半切	箇所	部	a. 24×36以上
☐ カラーキャビネ版	適宜 箇所	3 部	b. 100×125以上
・モノクロームキャビネ版	箇所	部	左欄に
・カラーキャビネ版	箇所	部	a又はbを
・カラーキャビネ版（空撮）	箇所	部	記入
	箇所	部	
・カラースライド	箇所	部	24×36以上

撮影業者は監督職員の承諾を受けた業者とする。

⑦ 保険関係

※建設業退職金共済組合に加入した場合、
(1)その掛金収納書を契約後1ヵ月以内に契約者に提出する。
(2)当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」との標識を掲示する。
(3)未加入下請事業者に対する加入を指導する。
※建設労災補償共済に加入（平成10年8月31日土総第1072号「建設労災補償制度の取扱い要領」参照）

※保険（保険期間は、原則として工事着工日から工期最終日＋14日以上とする）
☐建設工事保険 ☐火災保険 ・組立保険 ☐賠償責任保険 ・運送保険
・その他の保険（ ）

2.鉄骨工事

- ① 鋼材 (7.2.1鋼材の材質

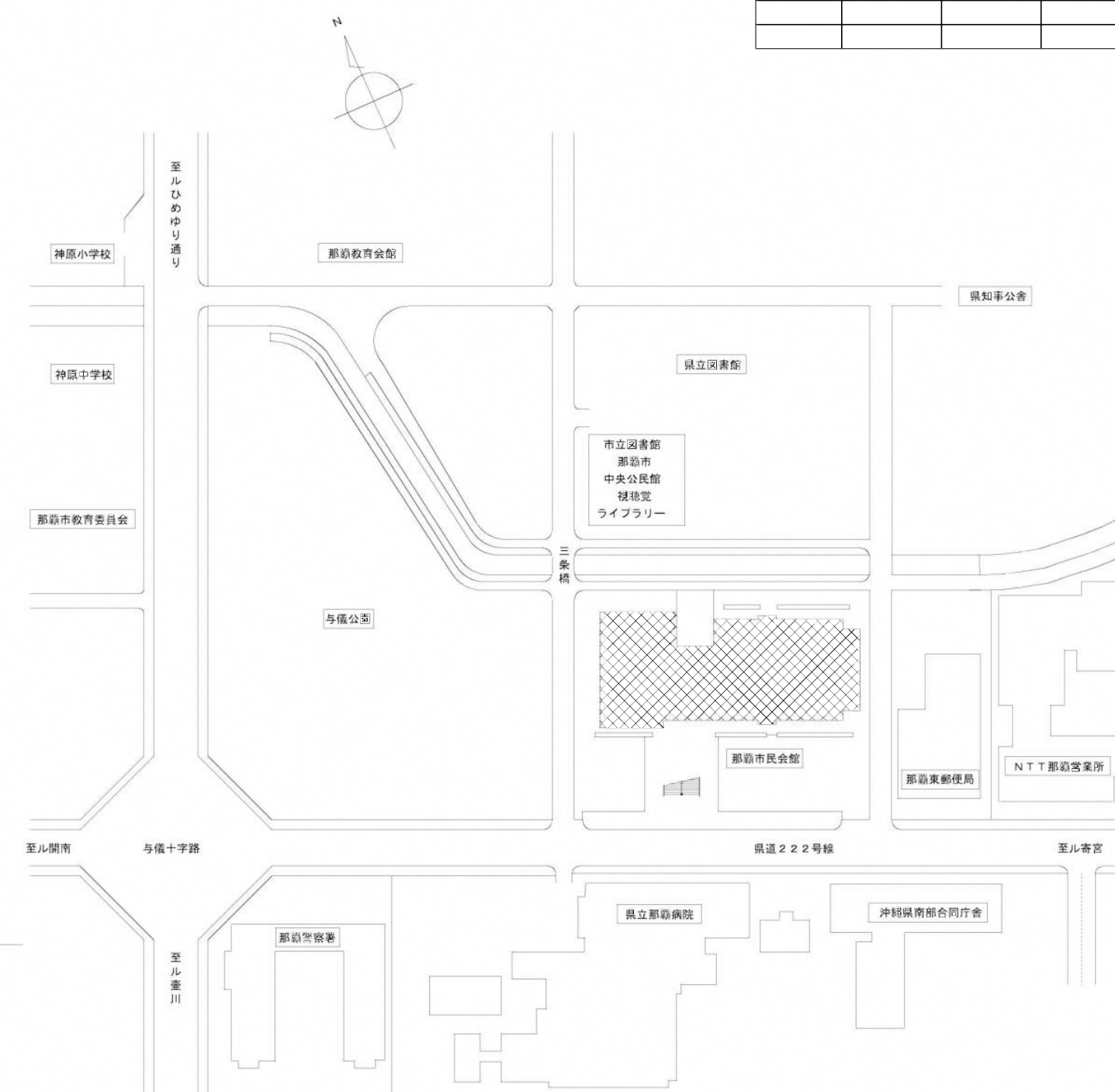
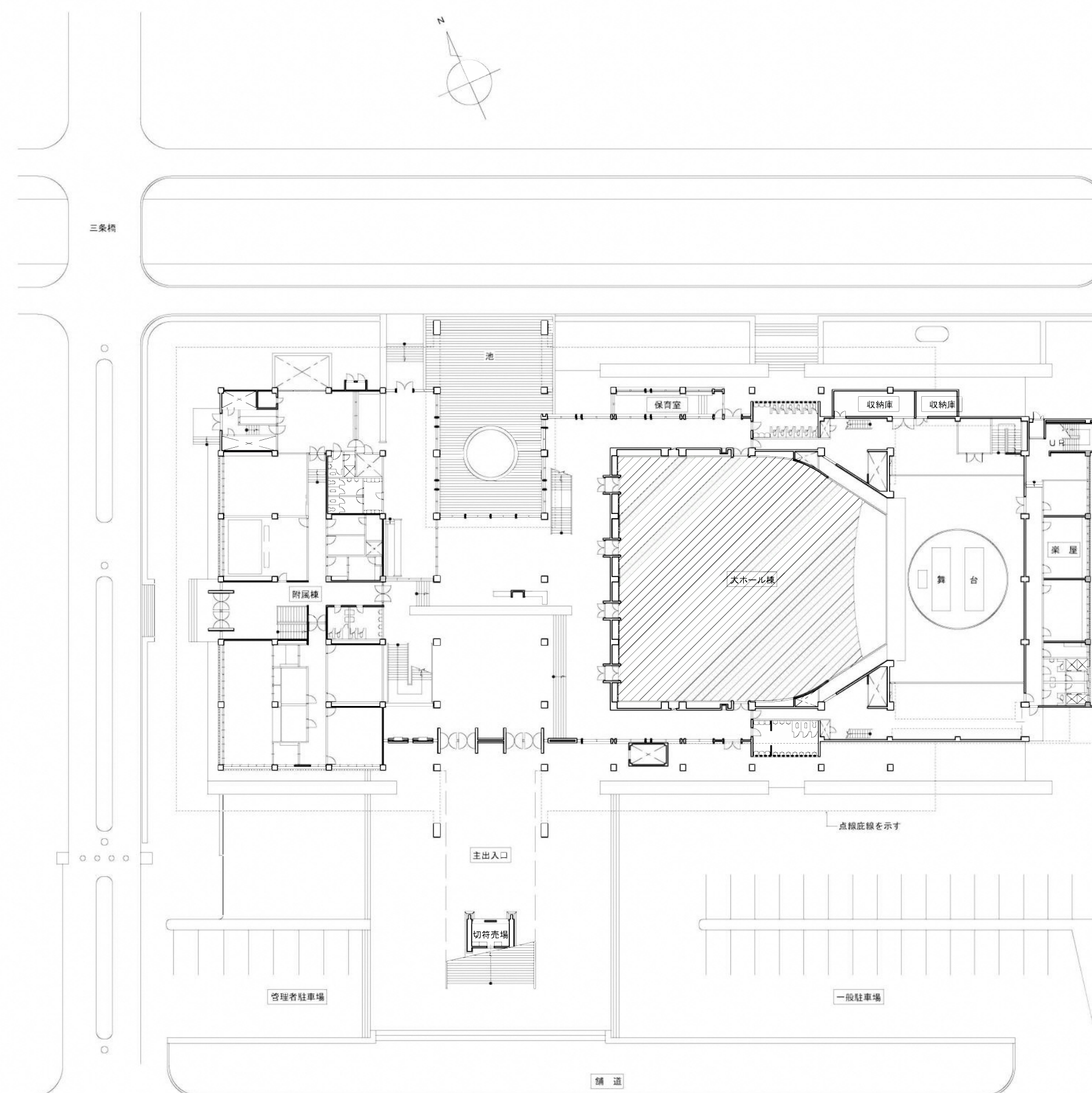
種類の記号	使用箇所	規格等
L-4×50×50	底裏コンクリート落下防止柵枠	※JIS規格
F-4×38	底裏コンクリート落下防止柵枠	※JIS規格
溶接金網 4×50×50	底裏コンクリート落下防止柵枠	※JIS規格
SUS鉄-クストライク・アンカー M10	底裏コンクリート落下防止柵枠	※JIS規格
ステンレス棒 M10	底裏コンクリート落下防止柵枠	※JIS規格

- ② 鉄鋼の垂鉛めっき 垂鉛めっき種別(表14.2.2)
(14.2.3)

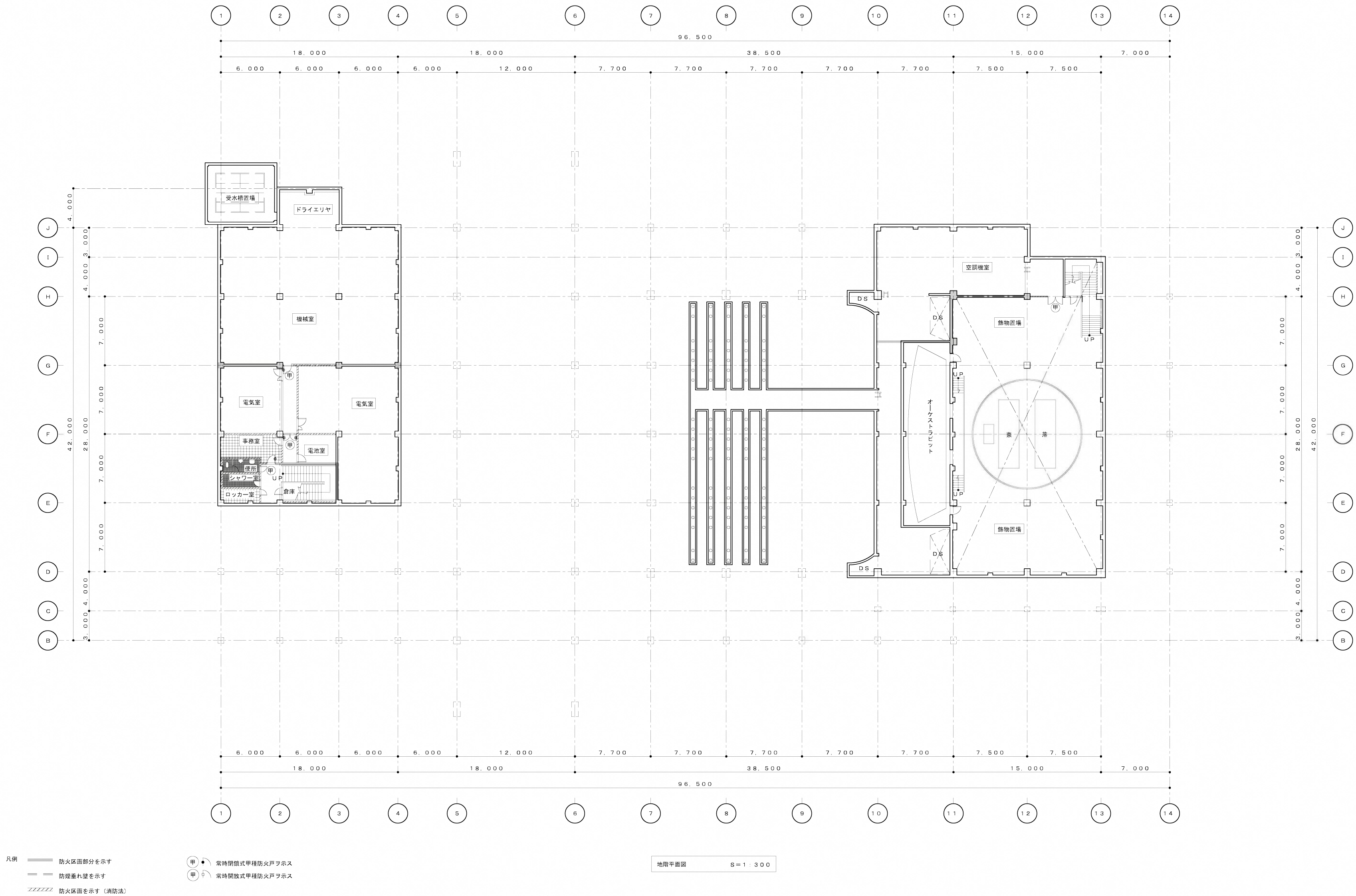
表面処理方法	種別	適用箇所
溶融垂鉛めっき	A種	底裏コンクリート落下防止柵枠
	B種	
	C種	
電気垂鉛めっき	D種	
	E種	
	F種	

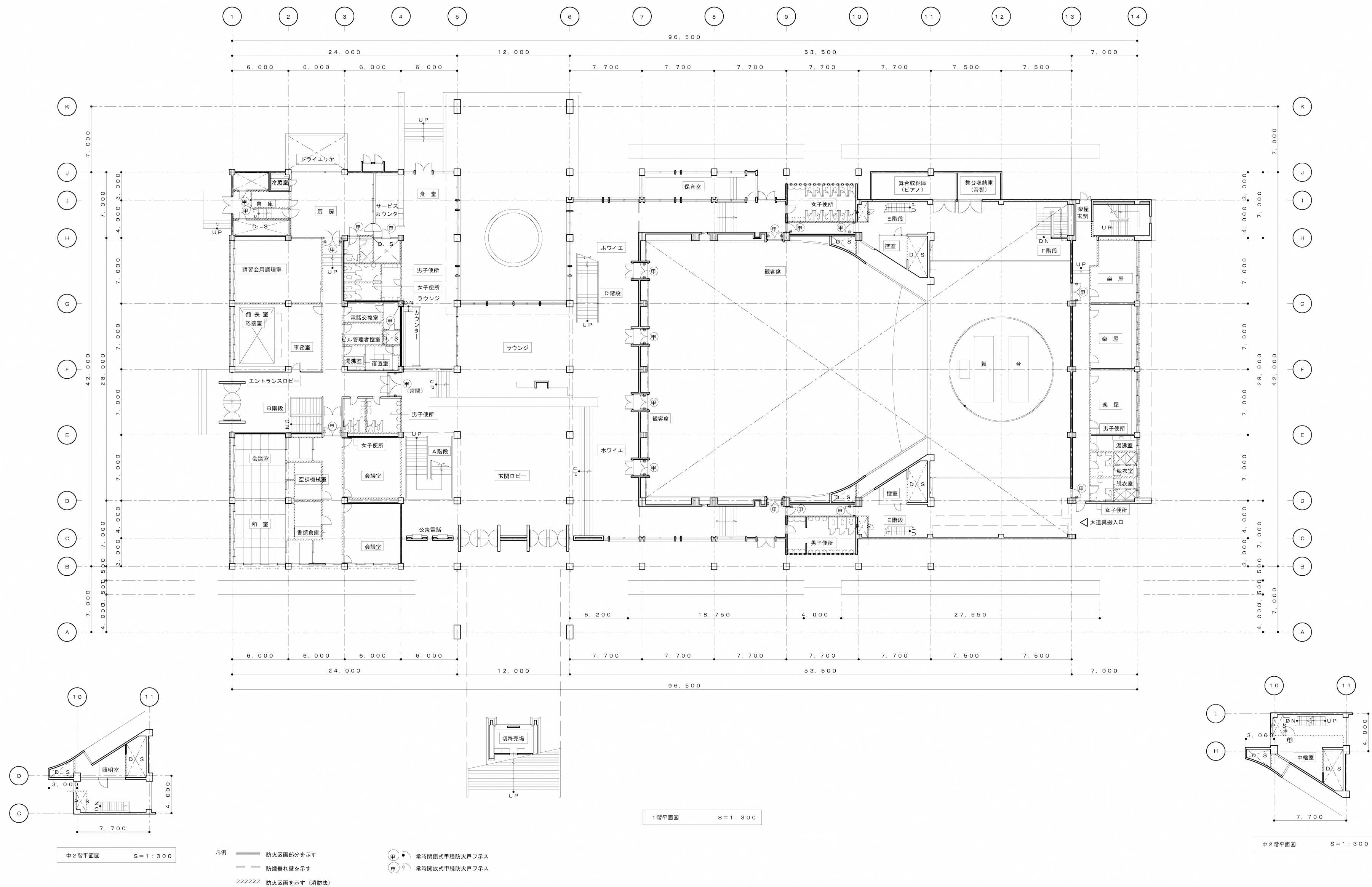
7 仮設工事

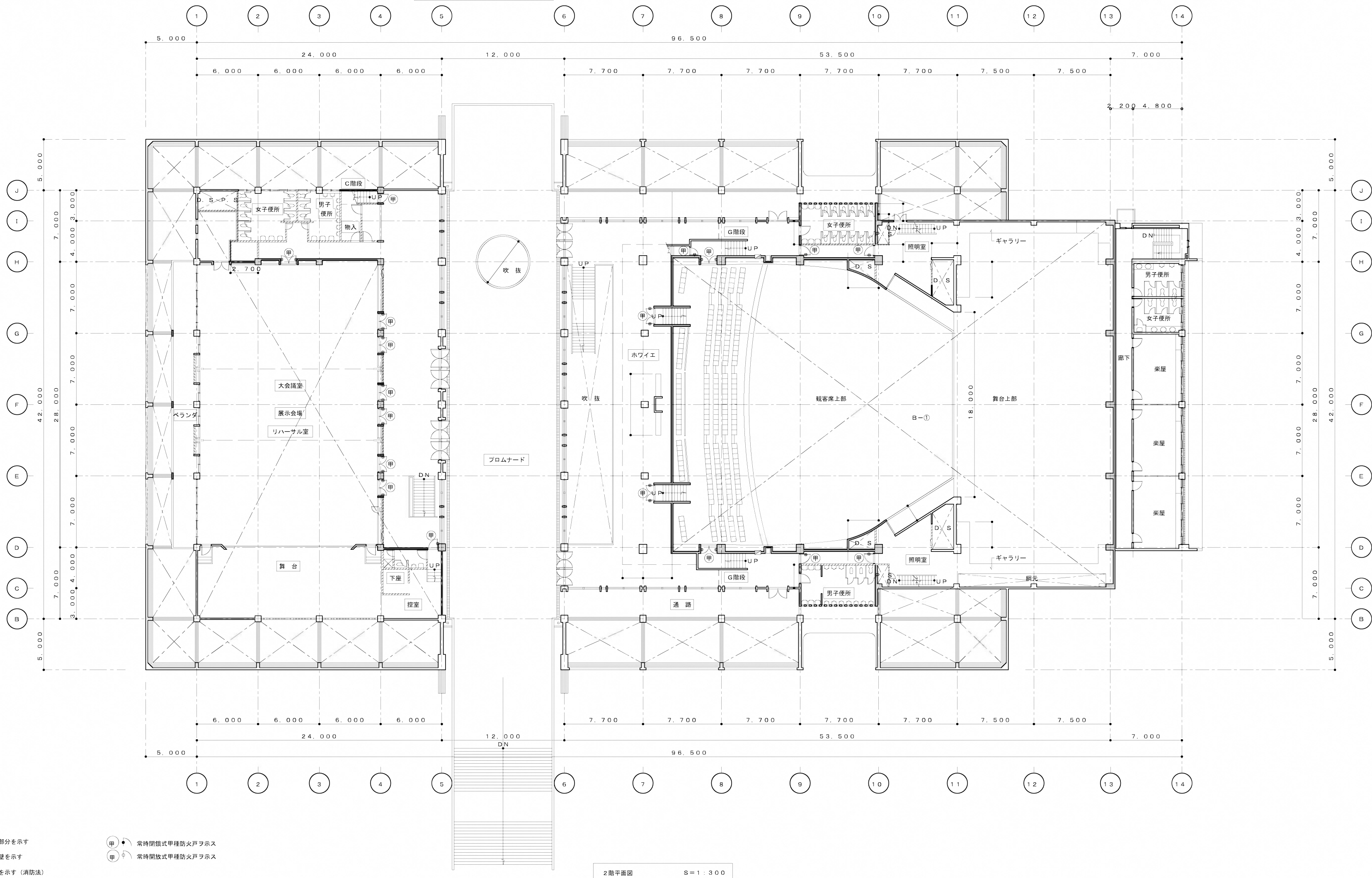
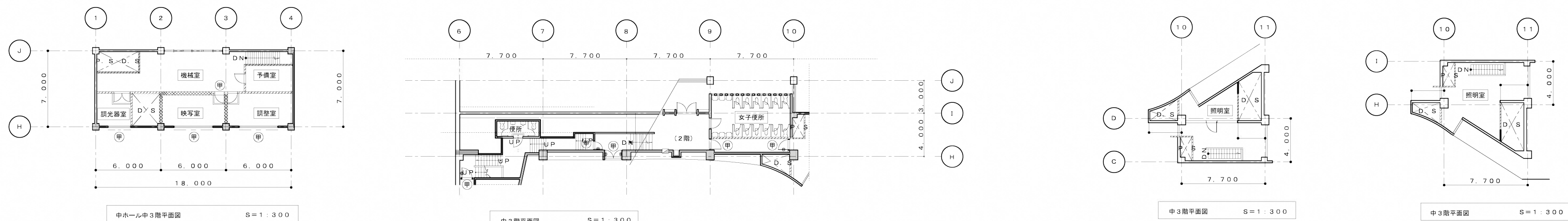
仮設足場 単管足場でステージを組む
仮囲い 鉄板塙 H＝1.800



所在地	那覇市宮古1丁目2番1号		
地域指定	第2種住居専用地域、住居地域		
防火地域	指定なし		
敷地面積	8,552 m ²		
建ぺい率	8,552 × 60% =	5,131.2	5,131.2
	5,131.20	>	4,674.5
容積率	8,552 × 200% =	17,104.0	17,104.0
	申請部分	既存部分	合計
延べ床面積	323.97	7,010.54	7,334.51
建築面積	21.90	4,652.66	4,674.56
	床面積	申請部分	既存部分
	地階	1,159.37	1,159.37
	1階	108.91	3,643.37
	2階	215.06	2,221.18
	3階		310.00
合計	323.97	7,010.54	7,334.51







凡例

防火区画部分を示す

防煙重れ壁を示す

防火区画を示す (消防法)

常時閉鎖式甲種防火戸ラース

常時開放式甲種防火戸ラース

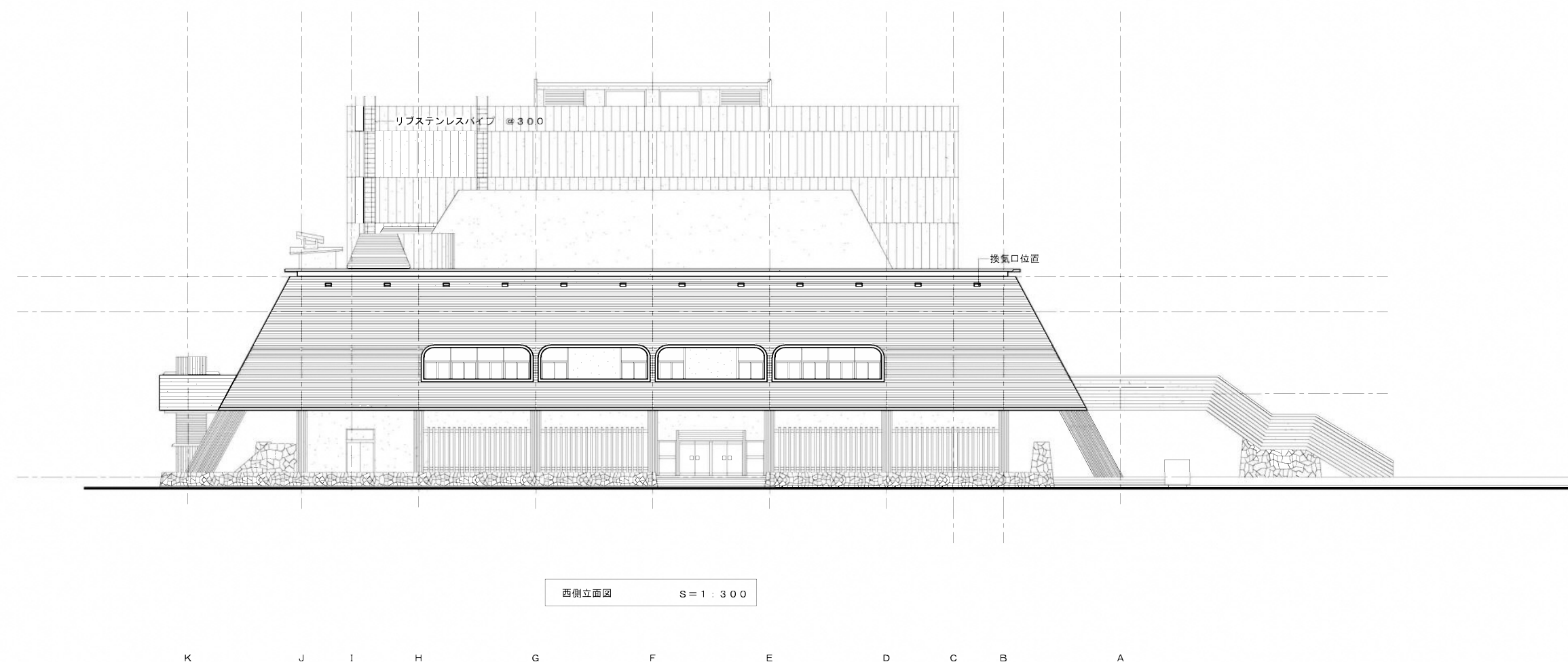
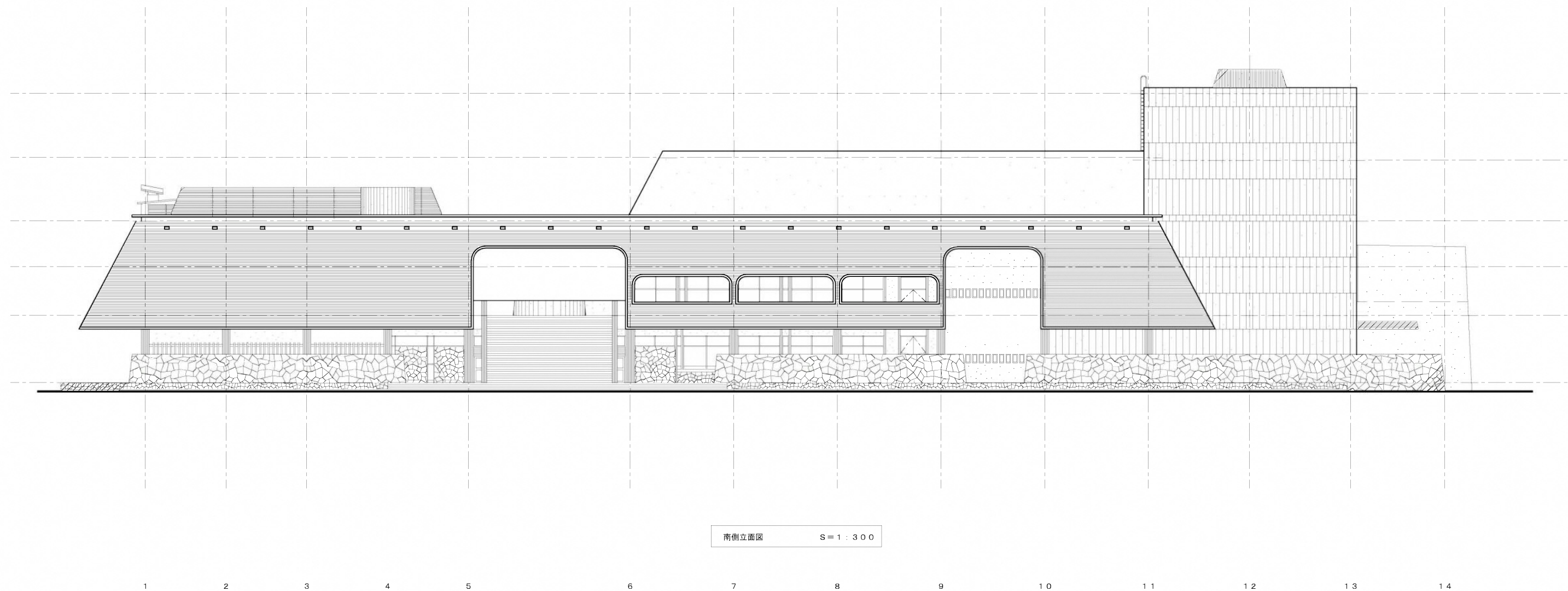
市民会館外壁緊急対策工事

那覇市寄宮1丁目2番1号

2階平面図・中3階平面図

竣工年：平成16年 2月

S=1:300



凡例
既設部分を示す
今回工事部分を示す

市民会館外壁緊急対策工事

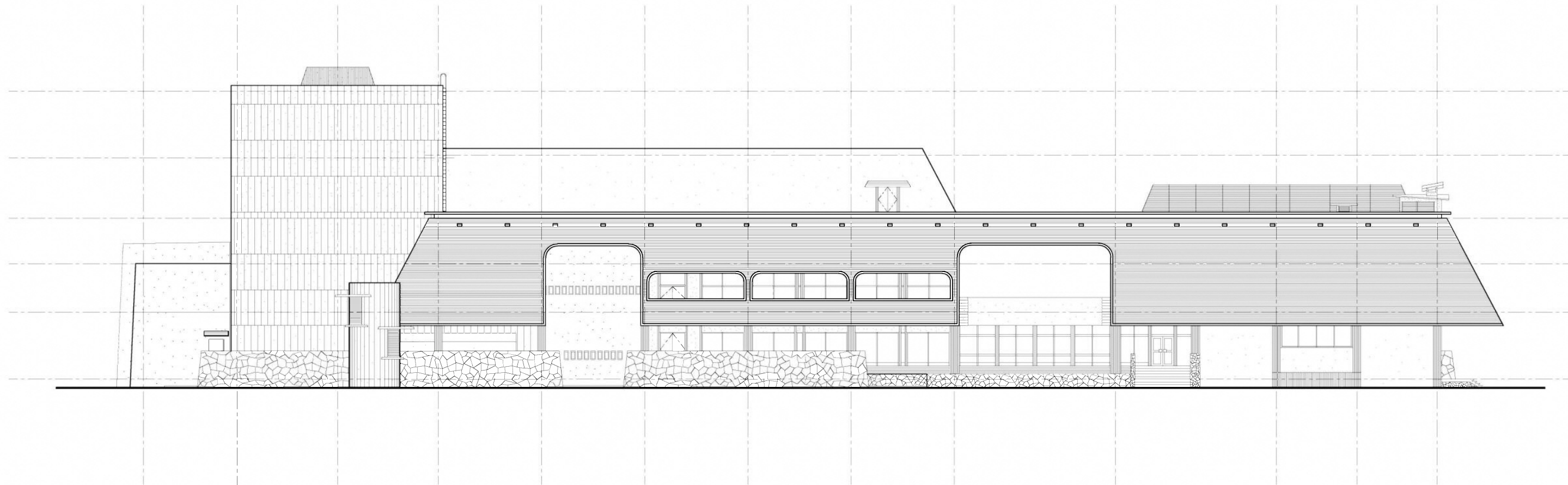
那覇市寄宮1丁目2番1号

南側立面図・西側立面図

竣工年：平成16年 2月

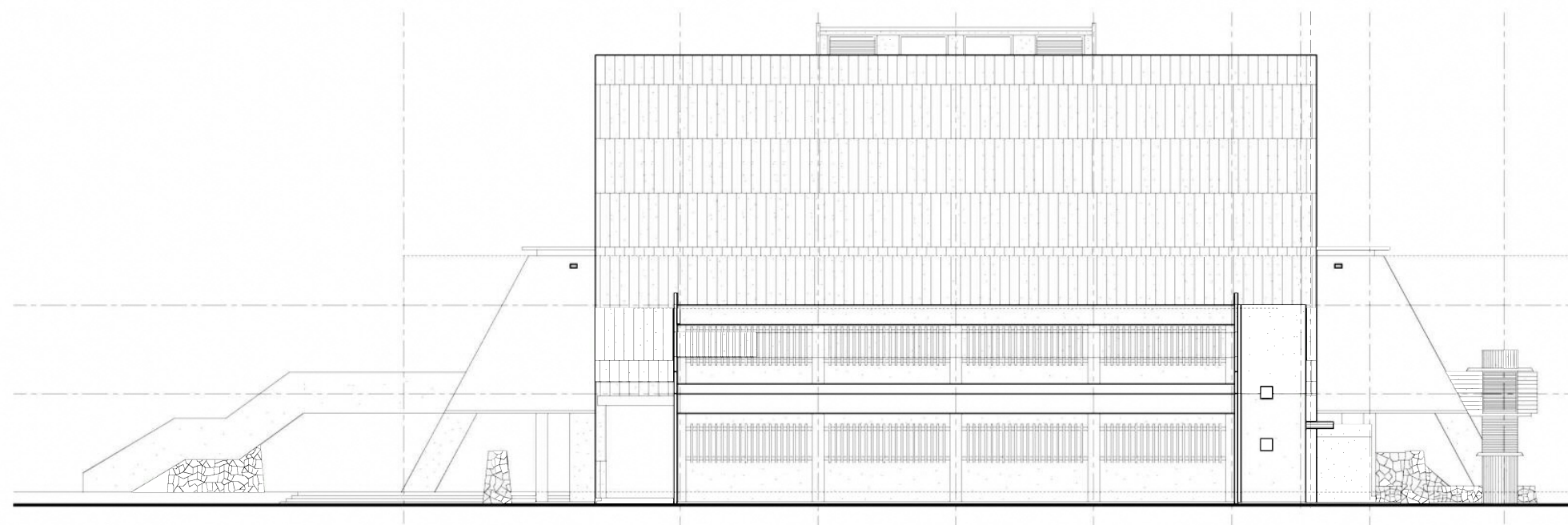
S=1:300

A -07



北側立面図 S=1:300

14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



東側立面図 S=1:300

A B C D E F G H I J K

凡例
 既設部分を示す
 今回工事部分を示す

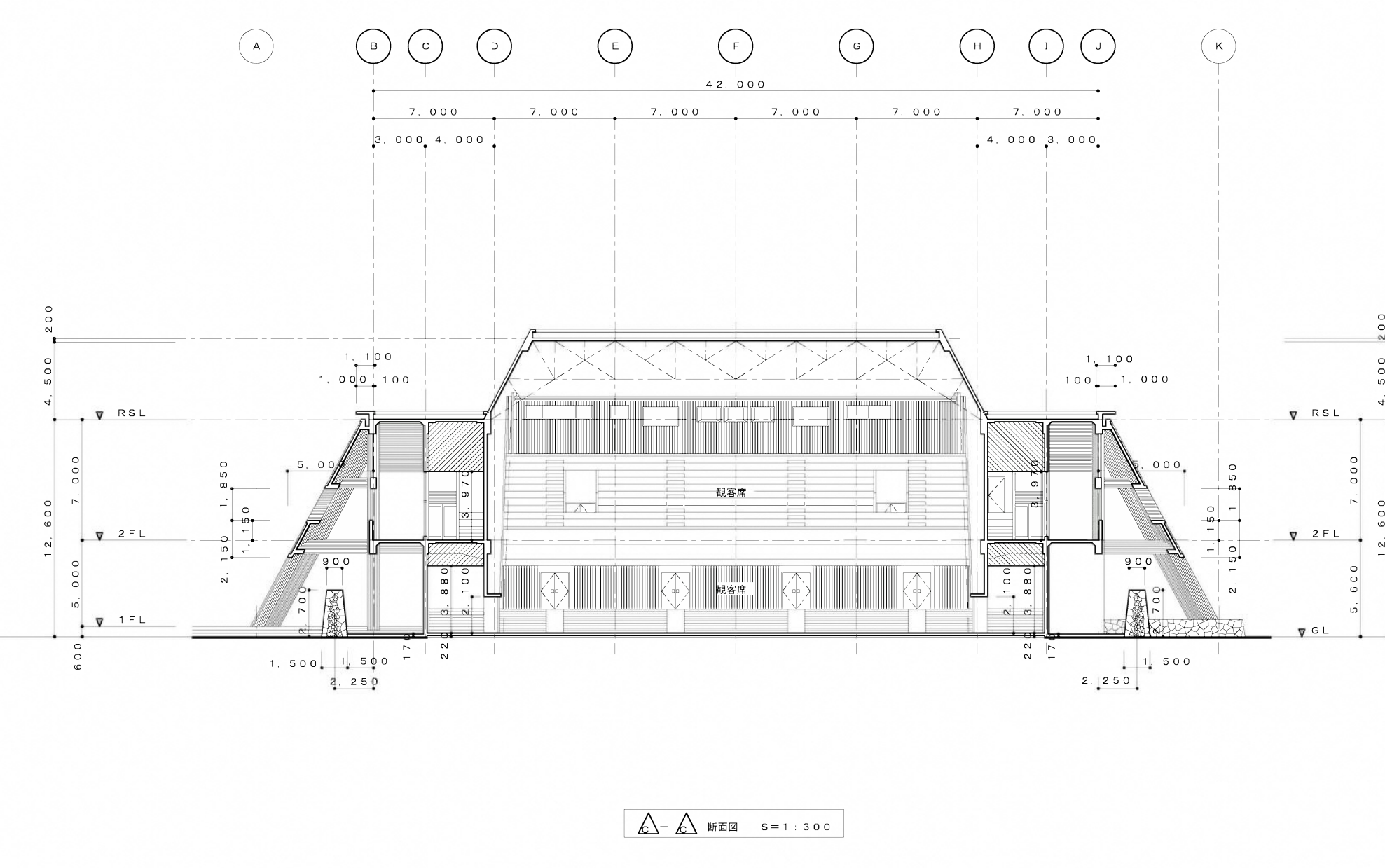
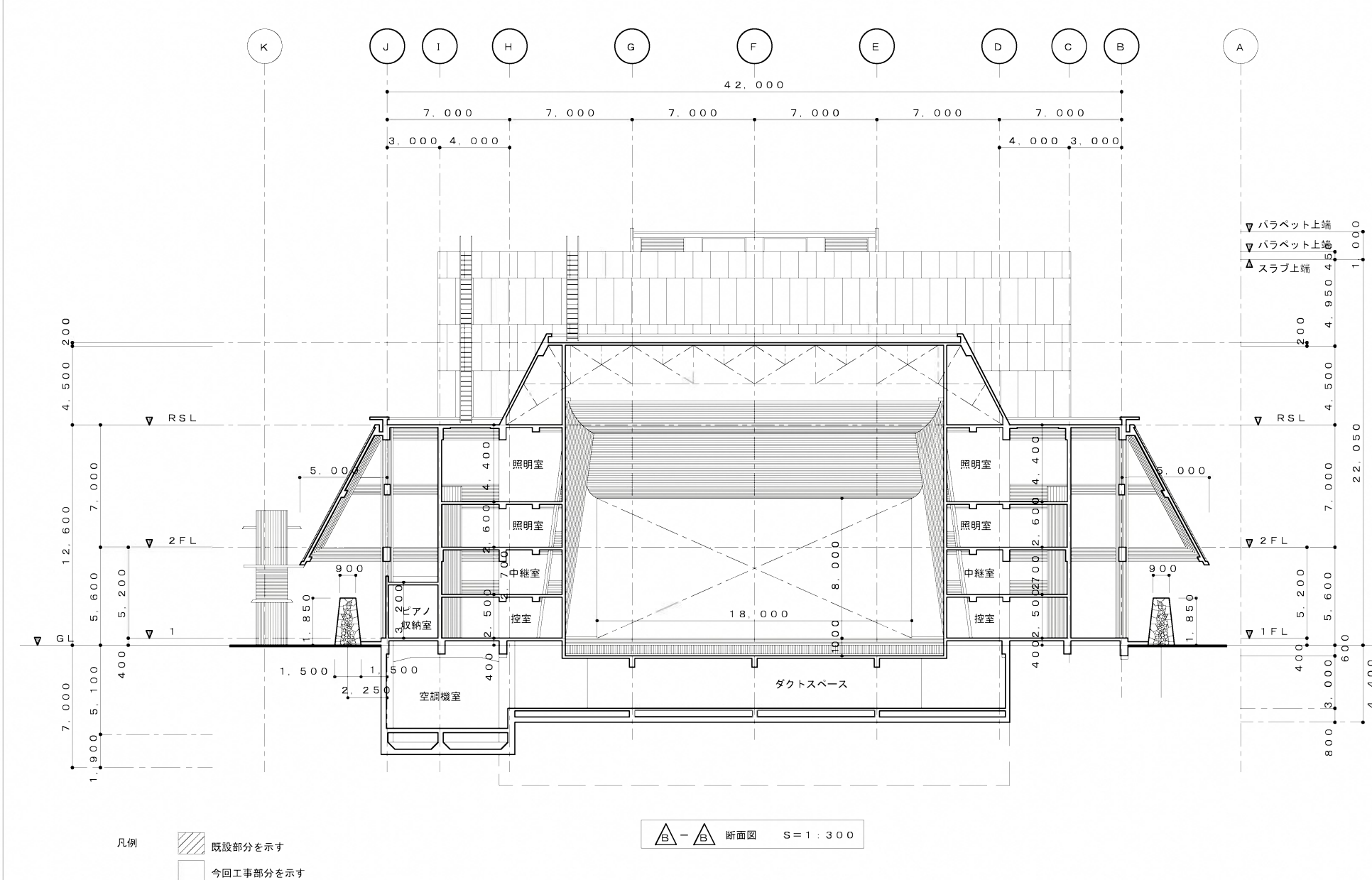
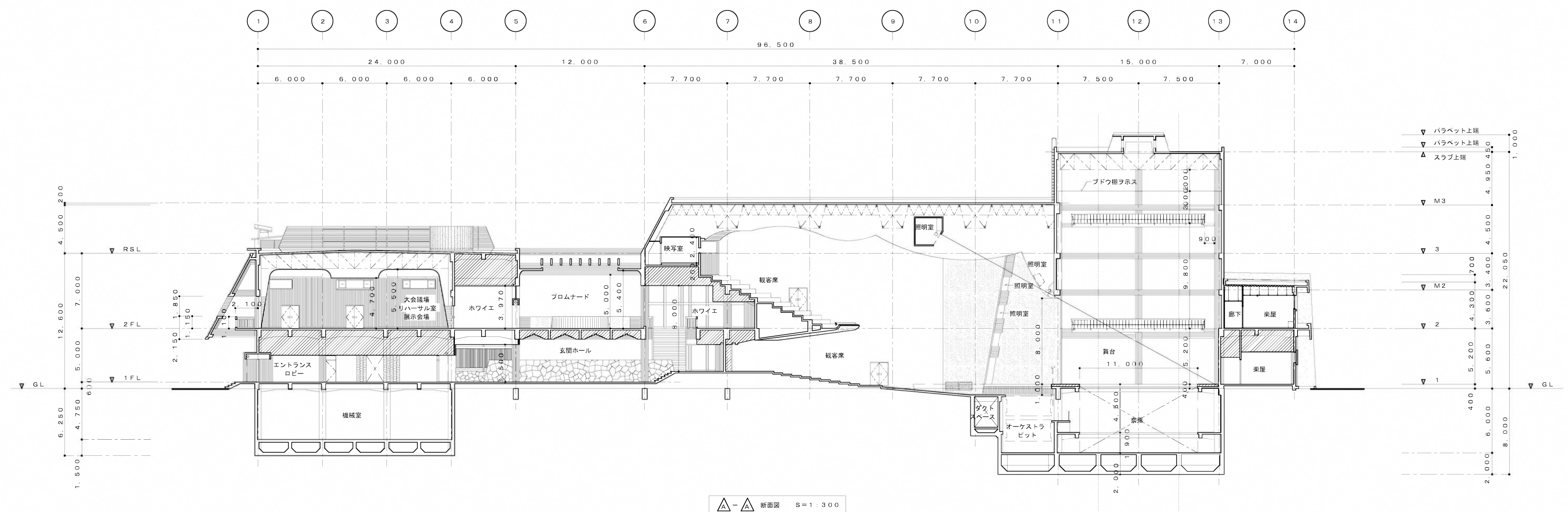
市民会館外壁緊急対策工事

那覇市寄宮1丁目2番1号

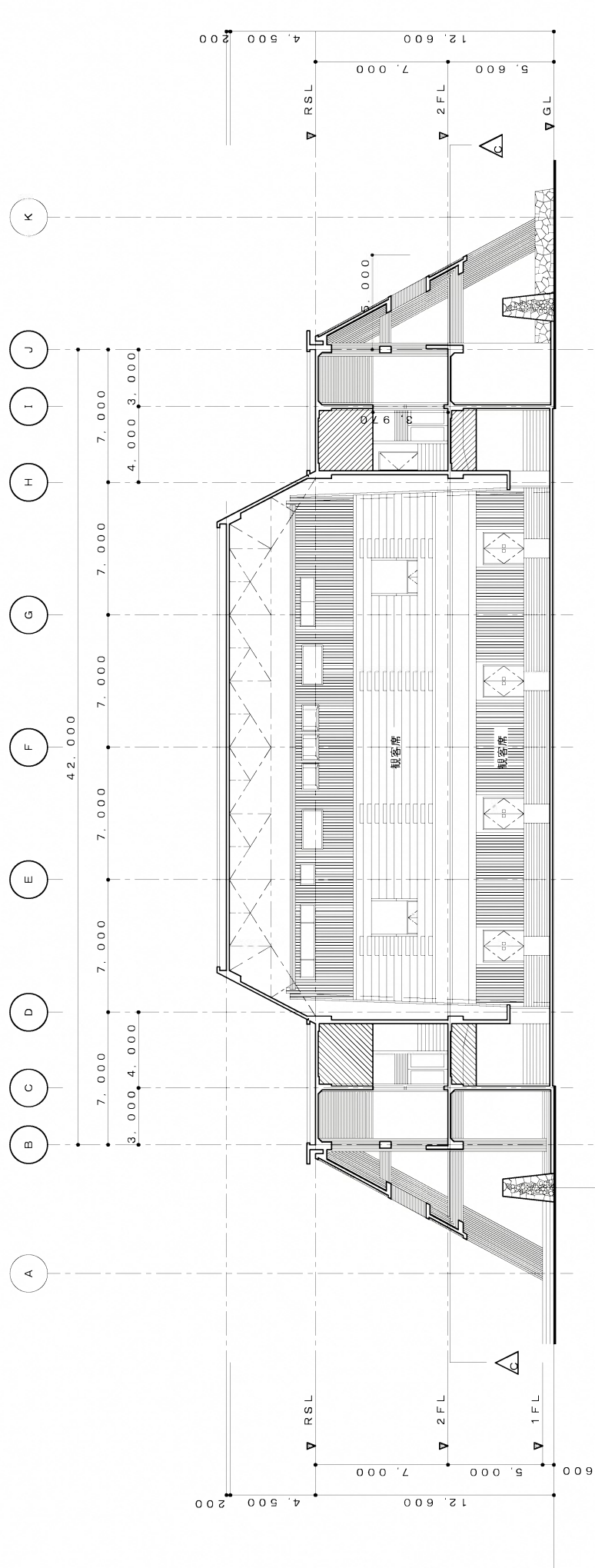
北側立面図・東側立面図

竣工年：平成16年 2月

S=1:300

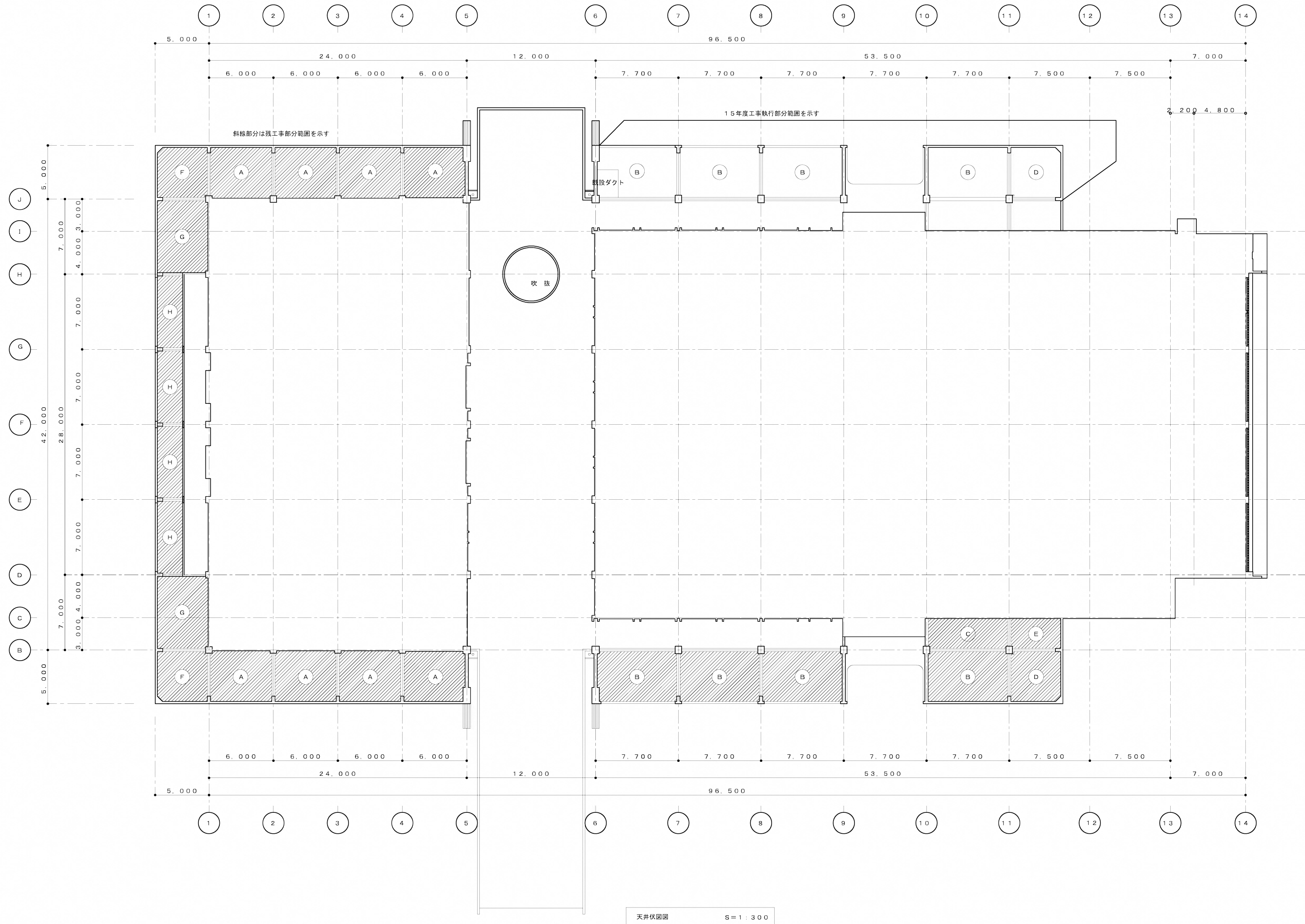


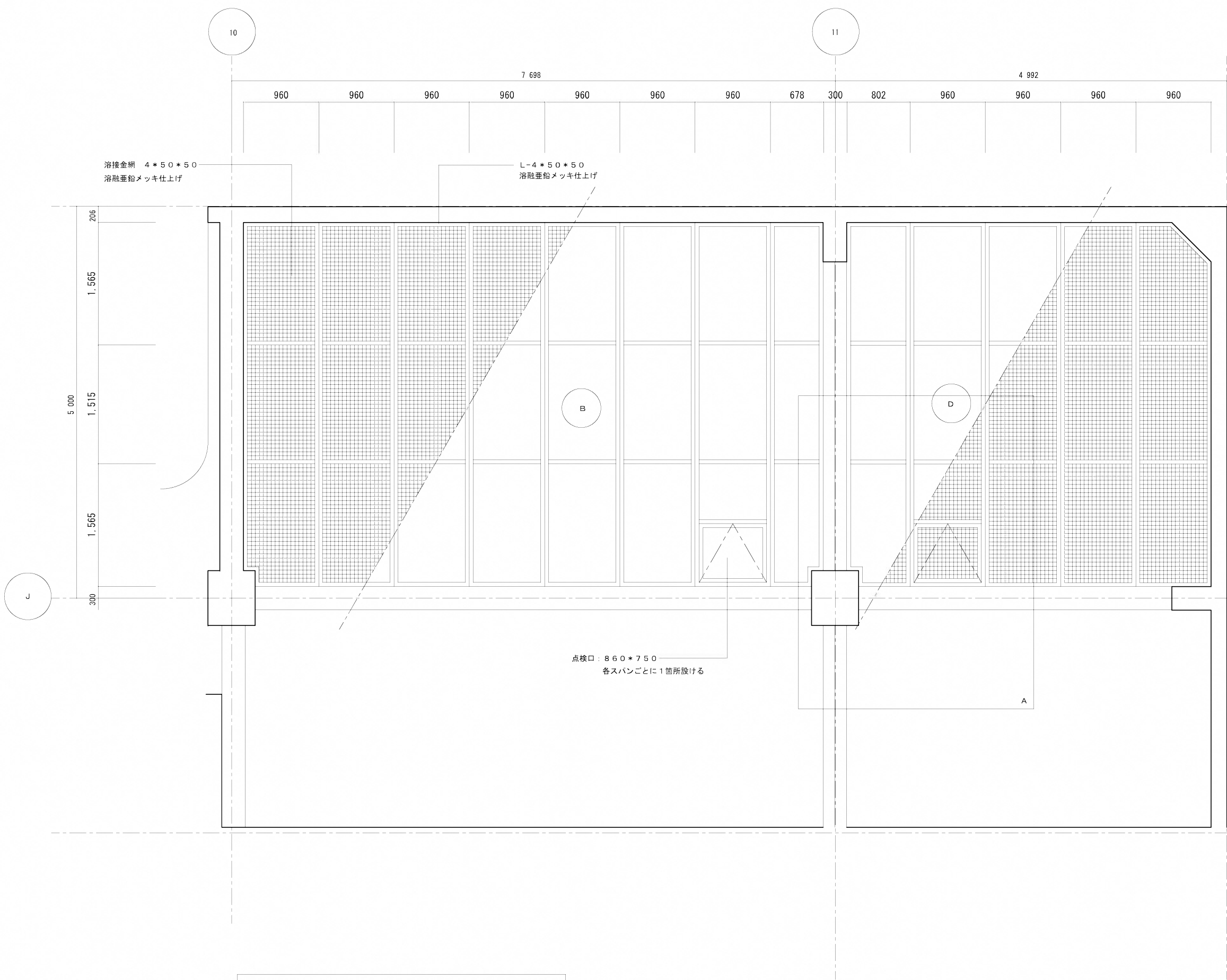
凡例
 既設部分を示す
 今回工事部分を示す



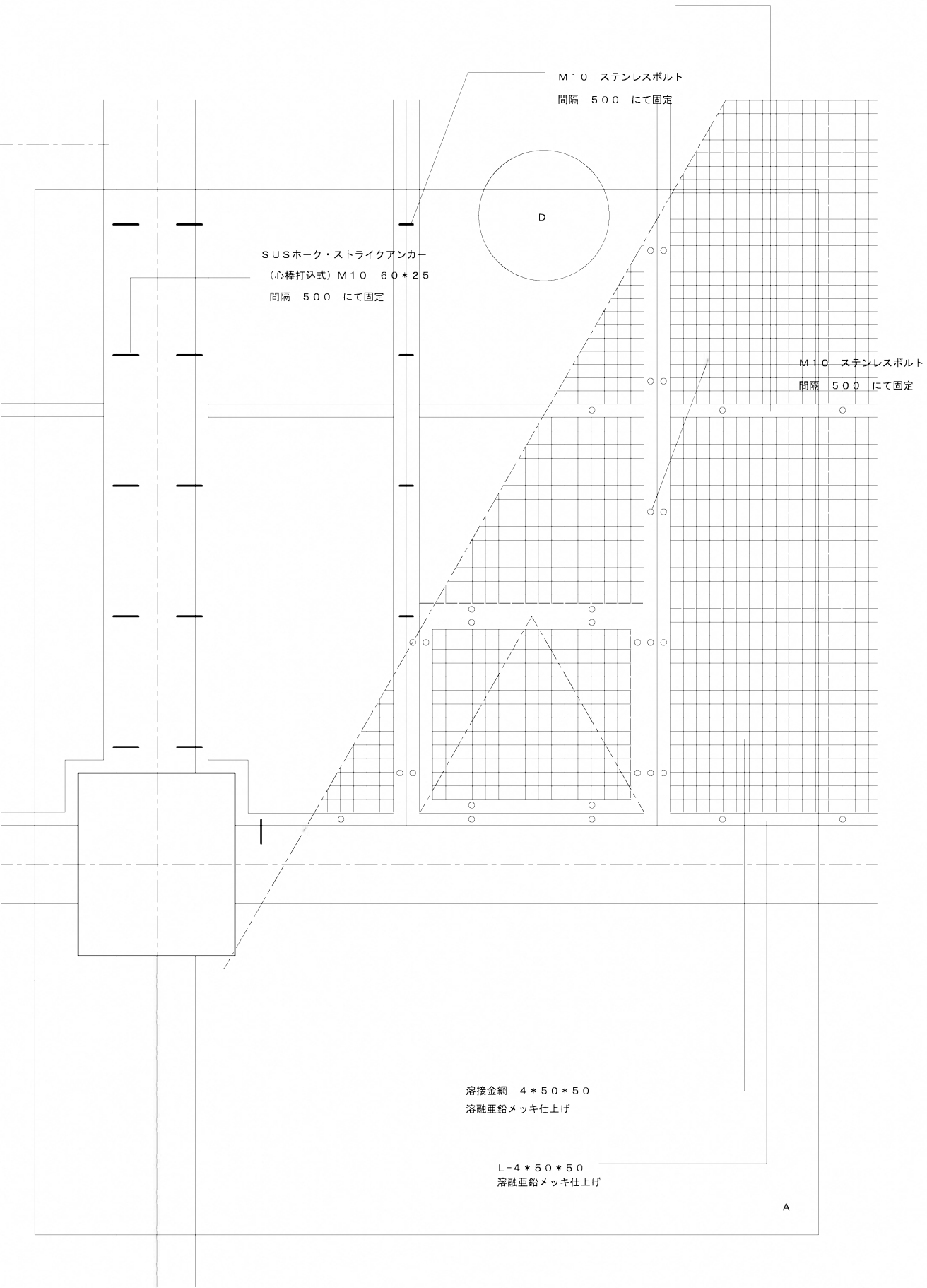
凡例

- 防火区画部分を示す
- 防煙垂れ壁を示す
- 防火区画を示す (消防法)
- 常時閉鎖式甲種防火戸ヲ示ス
- 常時開放式甲種防火戸ヲ示ス



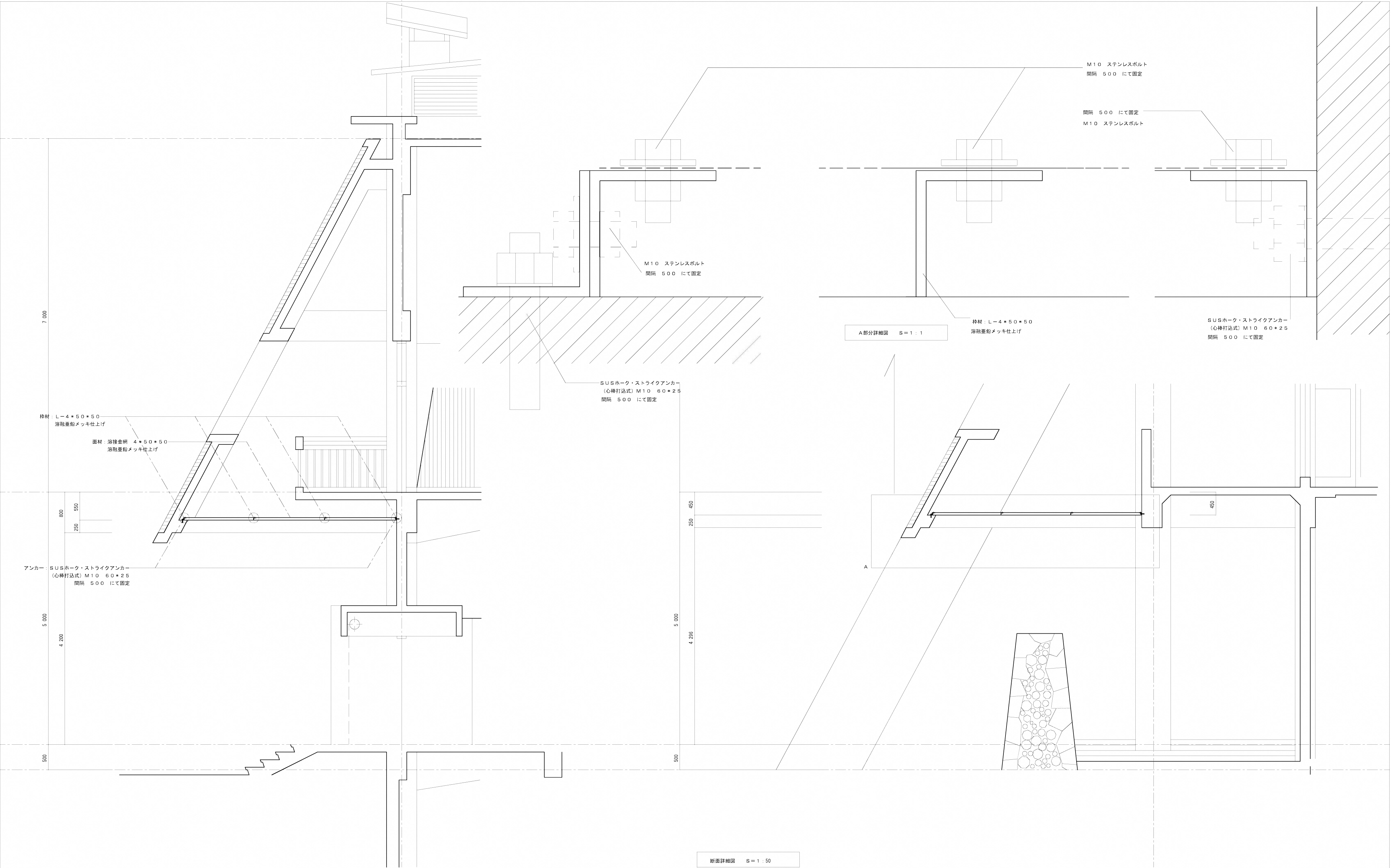


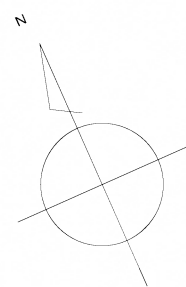
落下防止柵 平面図 (1) S=1:50



A部分詳細図 S=1:20

- 凡例
- 防火区画部分を示す
 - 防火区画を示す
 - 防火区画を示す (消防法)
 - 常時閉鎖式甲種防火戸ヲ示ス
 - 常時開放式甲種防火戸ヲ示ス





工事車両進入経路
6～10間作業時の経路



池

仮囲い：H=1,800

作業員出入口

仮設足場スペース

工事車両駐車スペース

市民会館

仮設計画図

S=1:300

工事車両進入経路
10～12間作業時の経路

市民会館外壁緊急対策工事

那覇市寄宮1丁目2番1号

仮設計画図

竣工年：平成16年 2月

S=1:300